

令和4年

消 防 統 計

乙訓消防組合消防本部

令和4年消防統計目次

消防統計の概要	．．．	1～5
1 火災統計		
(1) 火災概要	．．．．．	6
(2) 市町別概要	．．．．．	7
(3) 出火原因別の火災件数と損害額	．．．．．	8
(4) 月別状況	．．．．．	9
(5) 火災種別損害額	．．．．．	9
(6) 覚知方法別件数	．．．．．	9
(7) 時間帯別件数	．．．．．	10
(8) 曜日別件数	．．．．．	10
2 その他災害統計		
(1) その他災害種別の件数	．．．．．	11
(2) 市町別その他災害種別の件数	．．．．．	11
(3) 覚知方法別件数	．．．．．	12
(4) 時間帯別件数	．．．．．	12
(5) 曜日別件数	．．．．．	13
3 救助統計		
(1) 事故種別出場件数及び活動件数	．．．．．	14
(2) 市町別出場件数	．．．．．	15
(3) 事故種別救出人員	．．．．．	16
(4) 発生場所別出場件数及び活動件数	．．．．．	17
4 救急統計		
(1) 事故種別出場件数及び搬送人員	．．．．．	18
(2) 年齢区分別事故種別搬送人員	．．．．．	19
(3) 事故種別傷病程度別搬送人員	．．．．．	19
(4) 年齢区分別傷病程度別搬送人員	．．．．．	20
(5) 傷病程度別搬送人員	．．．．．	20
(6) 市町別出場件数	．．．．．	21
(7) 消防署別出場件数	．．．．．	22
(8) 救急隊員が行った応急処置状況	．．．．．	23

消防統計の概要

1 火災統計

(1) 出火状況

ア 令和4年の出火件数は29件で、前年の29件と同件数となっている。

また、火災による死者は3人となっており、前年の2人に比べ1人の増加となっている。

火災種別では、「建物火災」が19件で前年に比べ2件の増加、「林野火災」は3件で2件の増加、「車両火災」は2件で3件の減少、「その他火災」は5件で1件の減少となっている。

〔1(1)火災概要〕

イ 市町別発生件数では、出火件数29件中、「向日市」が13件、「長岡京市」が11件、「大山崎町」が5件となっている。

〔1(2)市町別概要〕

ウ 月別の出火状況は、「1月」が5件で17.2%と最も多く、次いで「6月」及び「8月」が各4件で13.8%、「7月」及び「11月」が各3件で10.3%、「2月」、「3月」、「4月」、及び「5月」が各2件で6.9%、「9月」、「10月」が各1件で3.4%の順となっている。

また、月別の損害額については、5月の38,454千円が最も多くなっている。

〔1(4)月別状況〕

エ 時間帯別件数は、「不明」が5件で最も多く、次いで「16時～18時」及び「20時～22時」が各4件、「0時～2時」及び「18時～20時」が各3件、「2時～4時」、「8時～10時」、「10時～12時」及び「12時～14時」が各2件、「4時～6時」及び「6時～8時」が各1件となっている。

〔1(7)時間帯別件数〕

オ 曜日別件数は、「月曜日」が7件と最も多く、次いで「日曜日」及び「水曜日」が各5件、「木曜日」及び「土曜日」が各4件、「火曜日」及び「金曜日」が各2件となっている。

〔1(8)曜日別件数〕

(2) 出火原因

出火件数29件中、出火原因別の項目に含まれない「その他」が6件と最も多く、次いで「こんろ」が5件、「不明」が4件、「配線器具」が3件、「電気装置」及び「たき火」が各2件、「放火の疑い」、「たばこ」、「かまど」、「電

気機器」、「電灯・電話等の配線」、「マッチ・ライター」及び「放火」が各1件となっている。

〔1(3)出火原因別の火災件数と損害額〕

(3) 損害額

ア 損害額は、48,003千円となっており、前年に比べ83,552千円の減少となっている。内訳としては、「建物火災」による損害額が84,164千円の減少、「車両火災」は593千円の増加、「その他火災」は19千円の増加となっている。

〔1(1)火災概要〕

イ 火災種別損害額では、「建物火災」が46,207千円で全体の96.3%となっており、次いで「車両火災」が1,770千円で全体の3.7%、「その他火災」が26千円で全体の0.1%となっている。

〔1(5)火災種別損害額〕

(4) 覚知方法別件数

覚知方法別件数は29件中、「火災報知専用電話（携帯電話）」が12件で41.4%、次いで「事後聞知」（消防が鎮火後に覚知したもの。爆発の場合は、消防機関が実際に出火又は再爆発の危険がなくなったと推定又は認定した時分が、覚知時分以前のもの）が9件で31.0%、「火災報知専用電話（固定電話）」（NTT加入電話を除く）が3件で10.3%、「火災報知専用電話（固定電話）」（NTT加入電話）が2件で6.9%、「加入電話（固定電話）」、「加入電話（携帯電話）」及び「その他」が各1件で3.4%となっている。

〔1(6)覚知方法別件数〕

2 その他災害統計

(1) その他災害発生件数及び種別件数

その他災害の発生件数は29件で、前年の34件に比べ5件の減少となっている。また、災害種別の発生件数は、「交通」が18件、次いで「危険物」が10件、「ガス・酸欠」が1件となっている。

〔2(1)その他災害種別の件数〕

(2) 市町別件数

市町別の発生件数は、「向日市」が16件、「長岡京市」が12件、「大山崎町」が1件となっている。

〔2(2)市町別その他災害種別の件数〕

(3) 覚知方法別件数

覚知方法別の発生件数は、「火災報知専用電話（携帯電話）」が10件で34.5%、次いで「その他」が8件で27.6%、「加入電話（固定電話）」が5件で17.2%、「加入電話（携帯電話）」が3件で10.3%、「火災報知専用電話（固定電話）」が2件で6.9%、「火災報知専用電話（IP電話）」が1件で3.4%、となっている。

〔2(3)覚知方法別件数〕

(4) 時間帯別件数

時間帯別の発生件数は、「10時～12時」が5件と最も多く、次いで「8時～10時」及び「不明」が各4件、「12時～14時」及び「20時～22時」が各3件、「14時～16時」、「16時～18時」及び「18時～20時」が各2件、「0時～2時」、「2時～4時」、「6時～8時」及び「22時～24時」が各1件となっている。

〔2(4)時間帯別件数〕

(5) 曜日別件数

曜日別の発生件数は、「月曜日」及び「火曜日」が各6件と最も多く、「水曜日」が5件、「木曜日」が4件、「金曜日」が3件、「土曜日」及び「不明」が各2件、「日曜日」が1件となっている。

〔2(5)曜日別件数〕

3 救助統計

(1) 出場件数及び活動件数

救助活動の状況は、出場件数が69件、活動件数は56件で前年に比べると出場件数は2件の増加、活動件数は前年の56件と同件数となっている。

〔3(1)事故種別出場件数及び活動件数〕

(2) 市町別件数

出場件数を市町別で見ると、「向日市」が26件、「長岡京市」が33件、「大山崎町」が7件、「その他の市町」には3件出場している。

〔3(2)市町別出場件数〕

(3) 救出人員

救出人員は59人で、前年に比べると6人増加している。また、事故種別の内訳は、「建物等による事故」が29人、次いで事故種別の項目に含まれない「その他」が16人、「交通事故」が9人、「火災（建物）」が5人となって

いる。

〔3(3)事故種別救出人員〕

(4) 発生場所別出場件数及び活動件数

発生場所別出場件数の内訳は、「住居」が35件（うち活動あり34件）、次いで「その他の道路」が11件（うち活動あり6件）、「山岳」が9件（うち活動あり8件）、「その他の屋外」が8件（うち活動あり5件）、「高速道路国道」が3件（うち活動あり1件）、「内水面」が2件（うち活動あり1件）、「その他」が1件（うち活動あり1件）となっている。

〔3(4)発生場所別出場件数及び活動件数〕

4 救急統計

(1) 出場件数及び搬送人員

出場件数は7,588件で前年に比べ1303件の増加、搬送人員については6,732人で前年に比べ971人の増加であり、1日あたりの出場件数は20.8件、搬送人員は18.4人となっている。

〔4(1)事故種別出場件数及び搬送人員〕

(2) 事故種別

事故種別出場件数は、「急病」が5,073件で全体の66.9%、次いで「一般負傷」の1,216件で16.0%、「交通事故」515件で6.8%となっており、これらが全体の約9割を占めている。

〔4(1)事故種別出場件数及び搬送人員〕

(3) 年齢区分

ア 年齢区分別事故種別の搬送人員は、「急病」では搬送人員4,552人中2,947人が「高齢者」で64.7%、次いで「成人」が1,167人で25.6%、「乳幼児」が300人で6.6%、「少年」が137人で3.0%となり、全体の半数以上を「高齢者」が占めている。

〔4(2)年齢区分別事故種別搬送人員〕

イ 「交通事故」では、搬送人員466人中266人が「成人」で57.1%、次いで「高齢者」が146人で31.3%、「少年」が43人で9.2%、「乳幼児」が11人で2.4%となっている。

〔4(2)年齢区分別事故種別搬送人員〕

ウ 「一般負傷」では、搬送人員1,087人中833人が「高齢者」で76.6%、次いで「成人」の143人で13.2%、「乳幼児」の77人で7.1%、「少年」が34人で3.1%となっている。

〔4(2)年齢区分別事故種別搬送人員〕

(4) 傷病程度

傷病程度別搬送人員では、搬送人員6,732人中3,516人が「軽症」で52.2%になり半数以上を占めている。

〔4(3)事故種別傷病程度別搬送人員〕

(5) 市町別出場件数

市町別出場件数では、「向日市」が2,810件で37.0%、「長岡京市」が4,024件で53.0%、「大山崎町」が718件で9.5%、「乙訓管外」が36件で0.5%となっている。

〔4(6)市町別出場件数〕

(6) 消防署別出場件数

消防署別出場件数では、「向日消防署」が2,509件で33.1%、「長岡京消防署」が2,373件で31.3%、「長岡京消防署東分署」が1,324件で17.4%、「大山崎消防署」が1,382件で18.2%となっている。

〔4(7)消防署別出場件数〕

※ 本文中のパーセント(%)表示の数値については、小数点第2位を四捨五入しているため、実際の数値とは合致しない場合があります。

1 火災統計

(1) 火災概要

区	分	単 位	令和4年	令和3年	増減(△印減)
出火件数	建 物		19	17	2
	林 野		3	1	2
	車 両		2 (2)	5	△ 3 (2)
	そ の 他		5 (1)	6	△ 1 (1)
	計	件	29 (3)	29	0 (3)
焼損棟数	全 焼		3	5	△ 2
	半 焼		1	4	△ 3
	部 分 焼		7	5	2
	ぼ や		16	18	△ 2
	計	棟	27	32	△ 5
焼 損 床 面 積		m ²	388	832	△ 444
焼 損 表 面 積		m ²	2	28	△ 26
林 野 焼 損 面 積		a	7	1	6
死 者		人	3	2	1
負 傷 者		人	7	10	△ 3
り 災 世 帯 数	全 損		9	8	1
	半 損		0	5	△ 5
	小 損		21	21	0
	計	世帯	30	34	△ 4
り 災 人 員		人	67	72	△ 5
損 害 額	建 物		46,207	130,371	△ 84,164
	林 野		0	0	0
	車 両		1,770 (1770)	1,177	593 (1770)
	そ の 他		26 (24)	7	19 (24)
	計	千円	48,003 (1794)	131,555	△ 83,552 (1794)
出 火 率		件/人口1万人	1.9	1.9	0.0

※ 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

※ 出火率とは、人口1万人当りの出火件数をいう。

※ ()内は、「うち高速道路の火災」を表す。

※ 高速道路は、名神高速道路上下線及び大山崎枝線上とする。

(2) 市町別概要

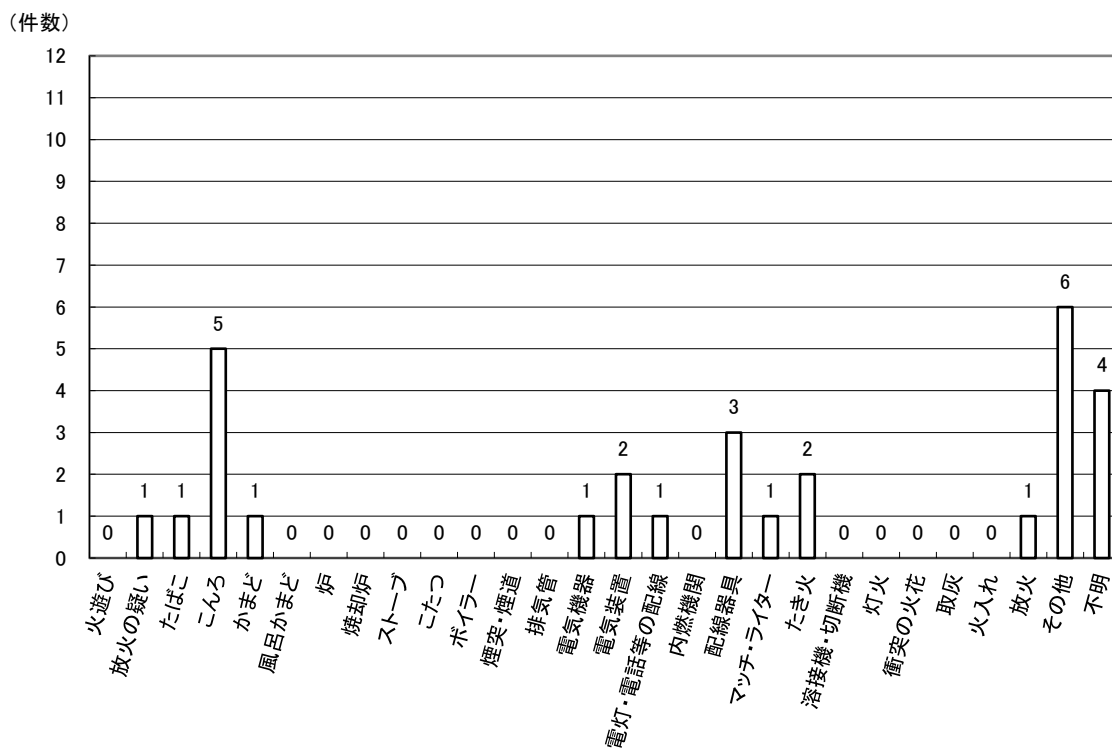
区		分	単 位	向日市	長岡京市	大山崎町	
出火件数	建	物		9	8	2	
	林	野		1	2	0	
	車	両		0	0	2	
	そ	の		3	1	1	
		他					
	計		件	13	11	5	
焼損棟数	全	焼		2	1	0	
	半	焼		1	0	0	
	部	焼		4	3	0	
	分	焼		7	7	2	
	ほ	や					
	計		棟	14	11	2	
焼 損 床 面 積			m ²	251	137	0	
焼 損 表 面 積			m ²	2	0	0	
林 野 焼 損 面 積			a	1	6	0	
死 者			人	2	1	0	
負 傷 者			人	5	2	0	
り 災 世 帯 数	全	損		8	1	0	
	半	損		0	0	0	
	小	損		10	9	2	
		計		世帯	18	10	2
り 災 人 員			人	39	23	5	
損 害 額	建	物		39,800	6,407	0	
	林	野		0	0	0	
	車	両		0	0	1,770	
	そ	の		26	0	0	
		他					
	計		千円	39,826	6,407	1,770	
出 火 率			件/人口1万人	2.3	1.4	3.2	

※ 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

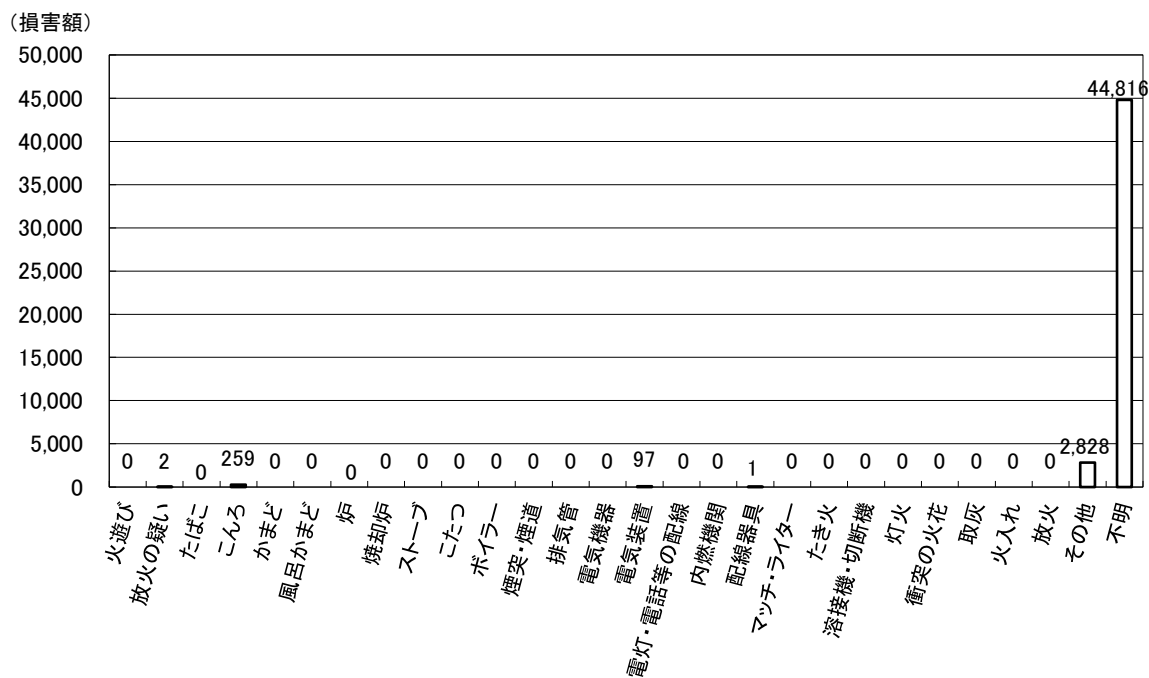
※ 出火率とは、人口1万人当りの出火件数をいう。

(3) 出火原因別の火災件数と損害額

火災件数(件)



損害額(千円)



(4) 月別状況

月別	区分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
1	月	5	17.2	294	0.6
2	月	2	6.9	206	0.4
3	月	2	6.9	1,086	2.3
4	月	2	6.9	274	0.6
5	月	2	6.9	38,454	80.1
6	月	4	13.8	1	0.0
7	月	3	10.3	584	1.2
8	月	4	13.8	7,046	14.7
9	月	1	3.4	3	0.0
10	月	1	3.4	0	0.0
11	月	3	10.3	55	0.1
12	月	0	0.0	0	0.0
合 計		29	100.0	48,003	100.0

※ 割合については、小数点第2位を四捨五入しているため合計と合致しない場合があります。

(5) 火災種別損害額

火災種別	区分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
建 物 火 災		19	65.5	46,207	96.3
林 野 火 災		3	10.3	0	0.0
車 両 火 災		2	6.9	1,770	3.7
そ の 他 の 火 災		5	17.2	26	0.1
合 計		29	100.0	48,003	100.0

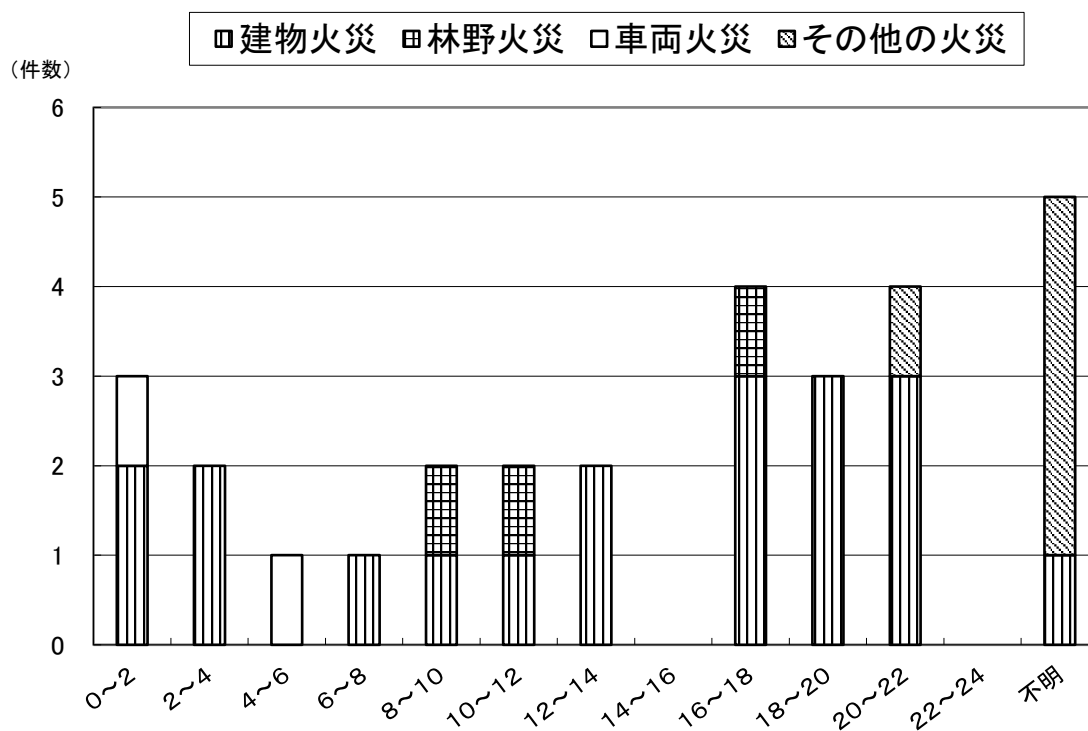
※ 割合については、小数点第2位を四捨五入しているため合計と合致しない場合があります。

(6) 覚知方法別件数

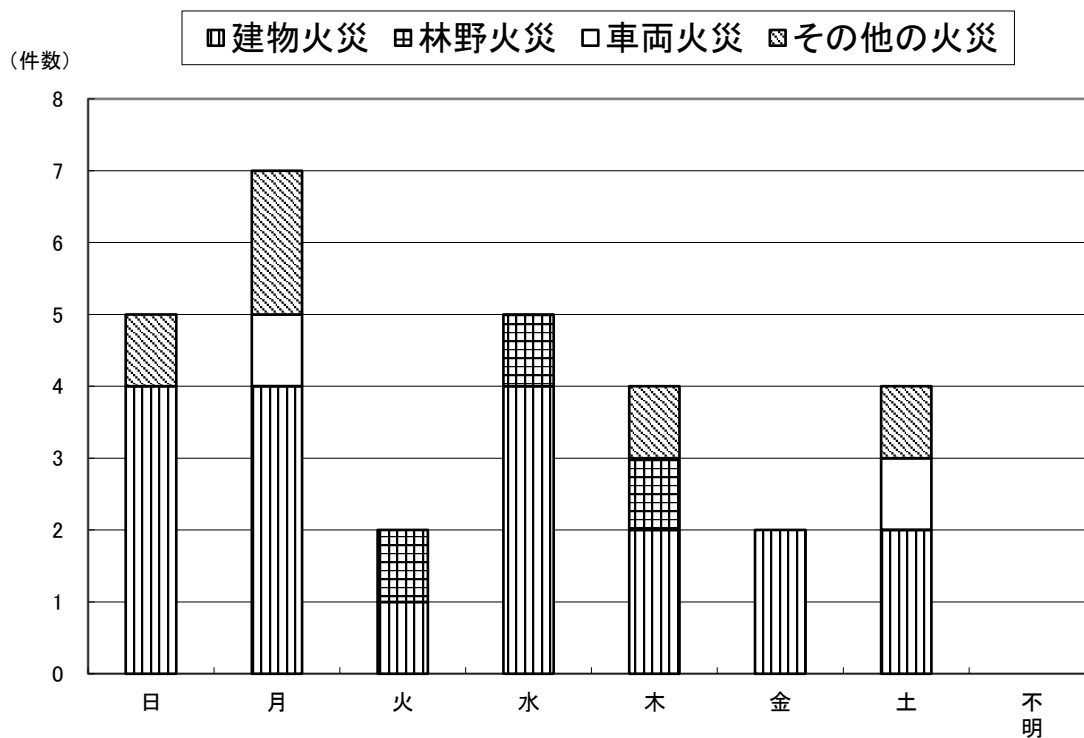
覚知方法	区分	出火件数 (件)	構成比 (%)
火災報知専用電話 固定電話から(NTT加入電話を除く)		3	10.3
火災報知専用電話 固定電話から(NTT加入電話)		2	6.9
火災報知専用電話 携帯電話から		12	41.4
加入電話(固定電話から)		1	3.4
加入電話(携帯電話から)		1	3.4
警察電話		0	0.0
駆け付け通報		0	0.0
事後聞知		9	31.0
そ の 他		1	3.4
合 計		29	100.0

※ 構成比については、小数点第2位を四捨五入しているため合計と合致しない場合があります。

(7) 時間帯別件数



(8) 曜日別件数



2 その他災害統計

(1) その他災害種別の件数

種別 \ 年別	令和4年	令和3年	増減(△印減)
交通	18	22	△4
水難	0	0	0
自然	0	1	△1
機械	0	0	0
危険物	10	10	0
建物等	0	0	0
ガス・酸欠	1	1	0
爆発	0	0	0
その他	0	0	0
計	29	34	△5

(2) 市町別その他災害種別の件数

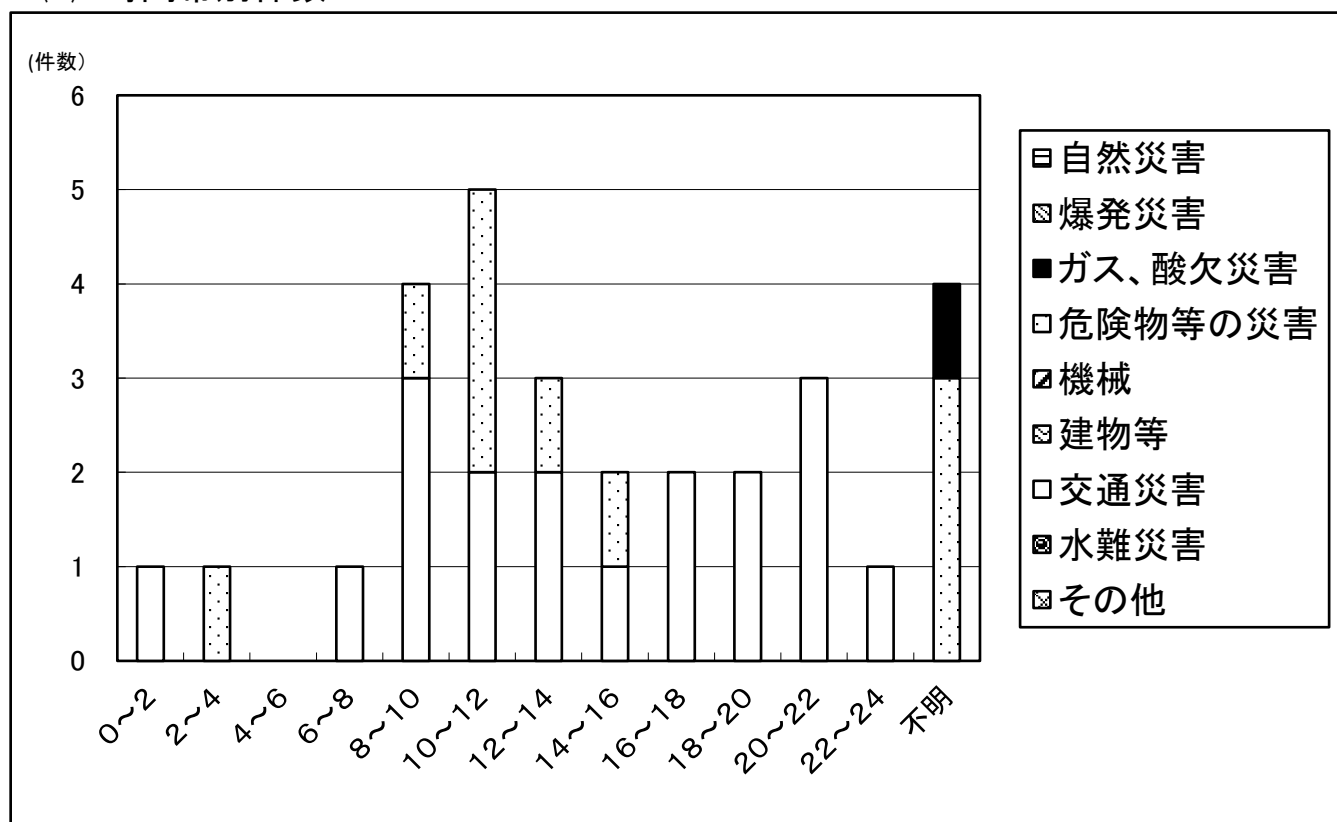
種別 \ 市町別	向日市	長岡京市	大山崎町
交通	10	8	0
水難	0	0	0
自然	0	0	0
機械	0	0	0
危険物	6	3	1
建物等	0	0	0
ガス・酸欠	0	1	0
爆発	0	0	0
その他	0	0	0
計	16	12	1

(3) 覚知方法別件数

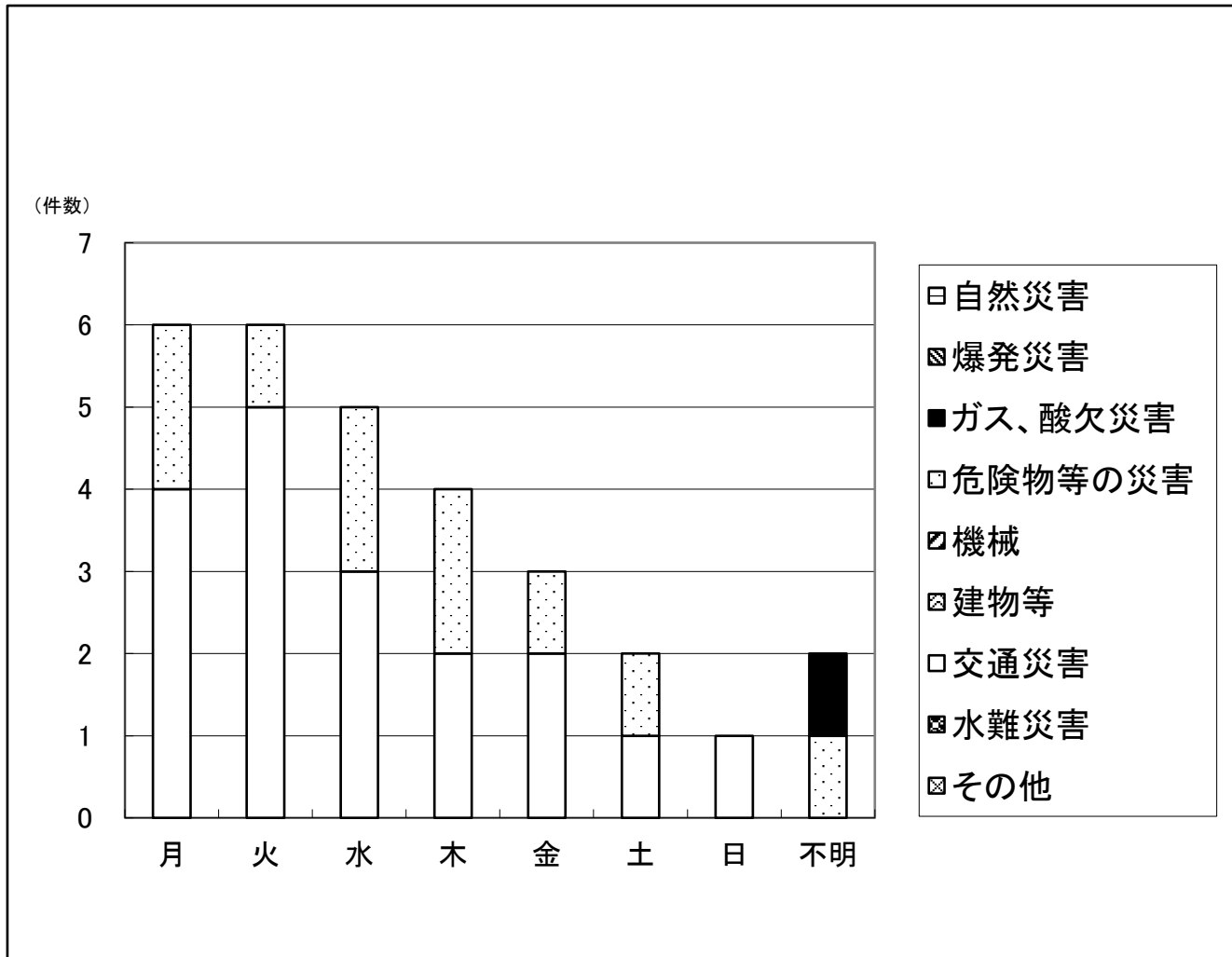
覚知方法	区分	災害件数 (件)	構成比 (%)
火災報知専用電話(固定電話から)		2	6.9
火災報知専用電話(携帯電話から)		10	34.5
火災報知専用電話(IP電話から)		1	3.4
加入電話(固定電話から)		5	17.2
加入電話(携帯電話から)		3	10.3
警察電話		0	0.0
駆け付け通報		0	0.0
事後聞知		0	0.0
西日本高速道路		0	0.0
その他		8	27.6
合計		29	100.0

※ 構成比については小数第2位を四捨五入しているため合計と合致しない場合があります。

(4) 時間帯別件数



(5) 曜日別件数



3 救助統計

(1) 事故種別出場件数及び活動件数

事故種別		令和4年		令和3年		増減(△印減)	
		出場件数	活動件数	出場件数	活動件数	出場件数	活動件数
火 災	建 物	5 (0)	5 (0)	7 (0)	7 (0)	△ 2 (0)	△ 2 (0)
	建物以外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
交 通 事 故		20 (3)	9 (1)	15 (3)	7 (0)	5 (0)	2 (1)
水 難 事 故		1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	△ 1 (0)	△ 1 (0)
風水害等自然災害		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
機械による事故		0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	△ 2 (0)	△ 2 (0)
建物等による事故		29 (0)	29 (0)	30 (0)	30 (0)	△ 1 (0)	△ 1 (0)
ガス及び酸欠事故		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
爆 発 事 故		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
そ の 他 の 事 故		14 (0)	12 (0)	11 (0)	8 (0)	3 (0)	4 (0)
計		69 (3)	56 (1)	67 (3)	56 (0)	2 (0)	0 (1)

※ ()内は、「うち高速道路救助出場件数」を表す。

※ 高速道路は、名神高速道路上下線及び大山崎枝線上とする。

(2) 市町別出場件数

事故種別		市町別				計
		向日市	長岡京市	大山崎町	その他の市町	
火 災	建 物	2 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)
	建物以外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
交 通 事 故		6 (0)	10 (2)	2 (0)	2 (1)	20 (3)
水 難 事 故		0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
風 水 害 等 自 然 災 害		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
機 械 に よ る 事 故		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
建 物 等 に よ る 事 故		15 (0)	13 (0)	1 (0)	0 (0)	29 (0)
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
爆 発 事 故		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
そ の 他 の 事 故		3 (0)	7 (0)	4 (0)	0 (0)	14 (0)
計		26 (0)	33 (2)	7 (0)	3 (1)	69 (3)

※ ()は、「うち高速道路救助出場件数」を表す。

※ 高速道路は、名神高速道路上下線及び大山崎枝線上とする。

(3) 事故種別救出人員

事故種別		年別	救 出 人 員		
			令和4年	令和3年	増 減 (△ 印 減)
火 災	建 物		5 (0)	6 (0)	△ 1 (0)
	建 物 以 外		0 (0)	0 (0)	0 (0)
交 通 事 故			9 (1)	9 (1)	0 (0)
水 難 事 故			0 (0)	0 (0)	0 (0)
風 水 害 等 自 然 災 害			0 (0)	0 (0)	0 (0)
機 械 に よ る 事 故			0 (0)	2 (0)	△ 2 (0)
建 物 等 に よ る 事 故			29 (0)	30 (0)	△ 1 (0)
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故			0 (0)	0 (0)	0 (0)
爆 発 事 故			0 (0)	0 (0)	0 (0)
そ の 他 の 事 故			16 (0)	6 (0)	10 (0)
計			59 (1)	53 (1)	6 (0)

※ ()は、「うち高速道路救助出場における救出人員」を表す。

※ 高速道路は、名神高速道路上下線及び大山崎枝線上とする。

(4) 発生場所別出場件数及び活動件数

発生場所		件数区分	令和4年		令和3年		増減(△印減)	
			出場件数	活動件数	出場件数	活動件数	出場件数	活動件数
屋内	住居		35	34	35	34	0	0
	その他の屋内		0	0	3	3	△3	△3
屋外	道路	高速道路国道	3	1	3	1	0	0
		その他の道路	11	6	9	5	2	1
	水面	内水面	2	1	2	2	0	△1
		外水面	0	0	0	0	0	0
	山岳		9	8	5	4	4	4
	その他の屋外		8	5	10	7	△2	△2
地下		0	0	0	0	0	0	
その他		1	1	0	0	1	1	
計			69	56	67	56	2	0

※ 内水面－河川・湖沼・池・プール等内陸における水上又は水中(ただし、河川敷やプールのシャワー室等は含まない。)

※ 外水面－上記以外の水上又は水中

4 救急統計

(1) 事故種別出場件数及び搬送人員

年別等	令和4年		令和3年		増減(△印減)	
事故種別	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
火 災	13 (1)	9 (0)	14 (0)	8 (0)	△ 1 (1)	1 (0)
自 然 災 害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
水 難	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
交 通 事 故	515 (8)	466 (8)	529 (11)	499 (12)	△ 14 (△ 3)	△ 33 (△ 4)
労 働 災 害	60 (1)	60 (1)	43 (0)	42 (0)	17 (1)	18 (1)
運 動 競 技	72 (0)	72 (0)	75 (0)	76 (0)	△ 3 (0)	△ 4 (0)
一 般 負 傷	1,216 (0)	1,087 (0)	1,088 (0)	1,013 (0)	128 (0)	74 (0)
加 害	26 (0)	18 (0)	17 (0)	13 (0)	9 (0)	5 (0)
自 損 行 為	66 (0)	41 (0)	50 (0)	34 (0)	16 (0)	7 (0)
急 病	5,073 (2)	4,552 (1)	3,983 (2)	3,690 (1)	1,090 (0)	862 (0)
そ の 他	547 (0)	427 (0)	486 (1)	386 (0)	61 (△ 1)	41 (0)
計	7,588 (12)	6,732 (10)	6,285 (14)	5,761 (13)	1,303 (△ 2)	971 (△ 3)
一日平均件数	20.8	18.4	17.2	15.8	3.6	2.6

注：()内は、「うち高速道路救急出場件数及び搬送人員」を表す。

(2) 年齢区別事故種別搬送人員

事故種別 年齢区分	事故種別					計
	急病	交通事故	一般負傷	その他		
新生児	1	0	0	2	3	
乳幼児	300	11	77	7	395	
少年	137	43	34	46	260	
成人	1,167	266	143	261	1,837	
高齢者	2,947	146	833	311	4,237	
計	4,552	466	1,087	627	6,732	

※ 新生児：生後28日未満
 乳幼児：生後28日以上満7歳未満
 少年：満7歳以上満18歳未満
 成人：満18歳以上満65歳未満
 高齢者：満65歳以上

(3) 事故種別傷病程度別搬送人員

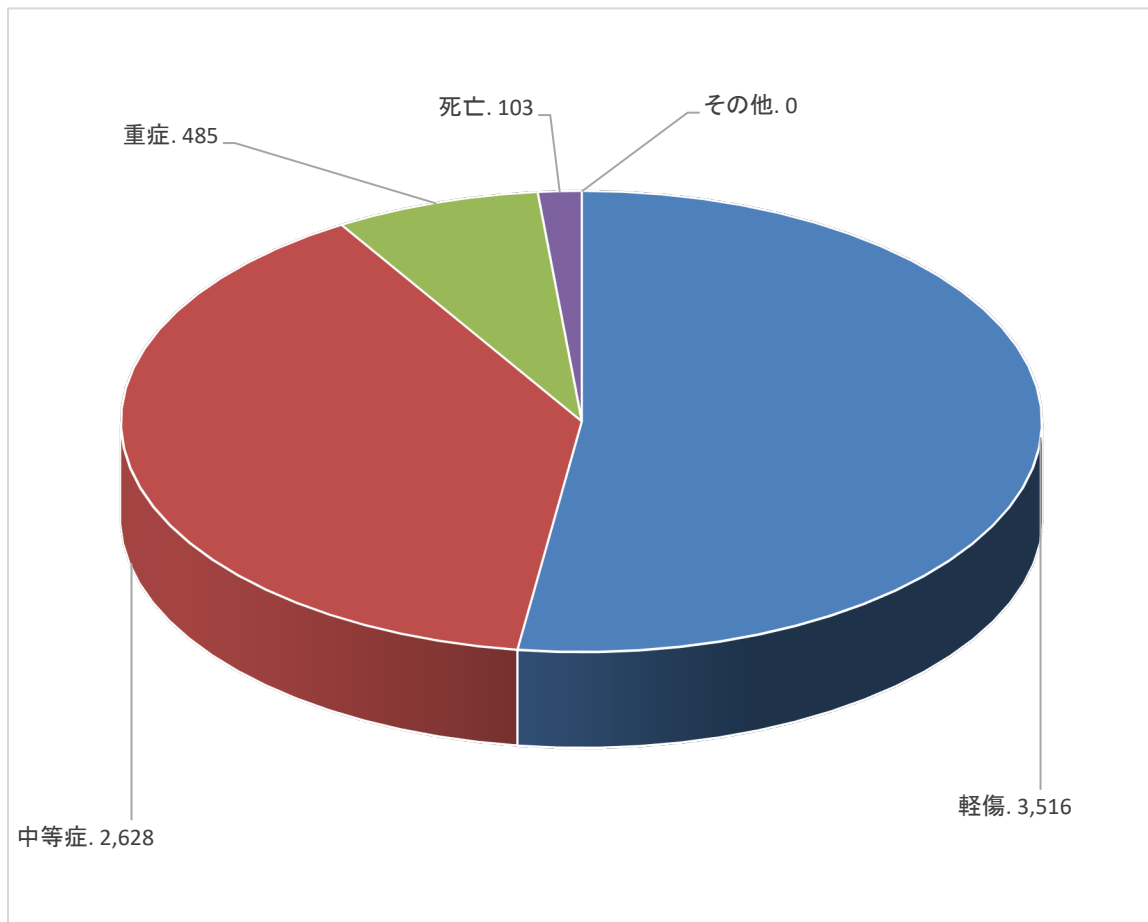
事故種別	傷病程度					
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
急病	92	315	1,863	2,282	0	4,552
交通事故	0	19	67	380	0	466
一般負傷	2	87	315	683	0	1,087
その他	9	64	383	171	0	627
計	103	485	2,628	3,516	0	6,732

※ 死亡：初診時において、死亡が確認されたもの
 重症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので、重症に至らないもの
 軽症：傷病の程度が入院を必要としないもの
 その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所（接骨院等）」へ搬送したもの

(4) 年齢区分別傷病程度別搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
死亡	0	0	0	16	87	103
重症	0	7	2	69	407	485
中等症	2	63	31	495	2,037	2,628
軽症	1	325	227	1,257	1,706	3,516
その他	0	0	0	0	0	0
計	3	395	260	1,837	4,237	6,732

(5) 傷病程度別搬送人員



(6) 市町別出場件数

地域名		事故種別					計
		急病	交通事故	一般負傷	その他		
向日市	4年	1,944 (0)	197 (0)	462 (0)	207 (0)	2,810 (0)	
	3年	1,530 (0)	219 (0)	413 (0)	216 (0)	2,378 (0)	
増減 (△印減)		414 (0)	△22 (0)	49 (0)	△9 (0)	432 (0)	
長岡京市	4年	2,618 (0)	251 (3)	638 (0)	517 (0)	4,024 (3)	
	3年	2,025 (0)	232 (2)	564 (0)	424 (0)	3,245 (2)	
増減 (△印減)		593 (0)	19 (1)	74 (0)	93 (0)	779 (1)	
大山崎町	4年	506 (2)	49 (2)	110 (0)	53 (2)	718 (6)	
	3年	418 (0)	62 (6)	106 (0)	41 (0)	627 (6)	
増減 (△印減)		88 (2)	△13 (△4)	4 (0)	12 (2)	91 (0)	
京都市	4年	5 (0)	13 (0)	5 (0)	7 (0)	30 (0)	
	3年	9 (1)	14 (1)	5 (0)	4 (1)	32 (3)	
増減 (△印減)		△4 (△1)	△1 (△1)	0 (0)	3 (△1)	△2 (△3)	
島本町	4年	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	
	3年	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	
増減 (△印減)		△1 (△1)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (△1)	
その他	4年	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	
	3年	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	
増減 (△印減)		0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	
合計	4年	5,073 (2)	515 (8)	1,216 (0)	784 (2)	7,588 (12)	
	3年	3,983 (2)	529 (11)	1,088 (0)	685 (1)	6,285 (14)	
増減 (△印減)		1,090 (0)	△14 (△3)	128 (0)	99 (1)	1,303 (△2)	

注：()内は、「うち高速道路救急出場件数」を表す。

(7) 消防署別出場件数

消防署名		事故種別				
		急病	交通事故	一般負傷	その他	計
向日消防署	4年	1,716	163	406	224	2,509
	3年	1,356	168	384	229	2,137
増減(△印減)		360	△ 5	22	△ 5	372
長岡京消防署	4年	1,562	143	377	291	2,373
	3年	1,235	166	342	267	2,010
増減(△印減)		327	△ 23	35	24	363
東分署	4年	885	122	217	100	1,324
	3年	661	112	188	80	1,041
増減(△印減)		224	10	29	20	283
大山崎消防署	4年	910	87	216	169	1,382
	3年	731	83	174	109	1,097
増減(△印減)		179	4	42	60	285
合計	4年	5,073	515	1,216	784	7,588
	3年	3,983	529	1,088	685	6,285
増減(△印減)		1,090	△ 14	128	99	1,303

(8) 救急隊員が行った応急処置状況

処置事項	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
	応急処置対象人員	4,552	466	1,087	627	6,732
止血	15	23	66	10	114	
固定	7	90	60	31	188	
人工呼吸	9	0	2	0	11	
心マッサージ	1	0	0	0	1	
心肺蘇生	125	0	6	11	142	
酸素吸入	803	16	43	150	1,012	
気道確保	155	3	13	12	183	
経鼻エアウェイ	6	0	0	1	7	
喉頭鏡、鉗子等	0	0	4	0	4	
ラリゲアルマスク	35	0	1	4	40	
気管挿管	0	0	1	1	2	
保温	55	1	8	12	76	
被覆	18	108	256	34	416	
在宅医療	80	0	6	3	89	
ショックパンツによる血圧の保持	0	0	0	0	0	
除細動	10	0	0	0	10	
静脈路確保	26	0	2	2	30	
薬剤投与	15	0	0	1	16	
その他の応急処置	4,489	462	1,080	614	6,645	
血圧測定	4,316	457	1,045	608	6,426	
聴診器による聴取	1,828	136	297	169	2,430	
血中酸素飽和度測定	4,412	460	1,077	616	6,565	
心電図測定	1,518	21	82	120	1,741	
計	17,882	1,777	4,043	2,393	26,095	

注：1 一人につき複数の応急処置を行う事もあるため、応急処置対象人員と事故種別ごとの処置項目の係数とは一致しない。

注：2 拡大された応急処置のうちショックパンツと自動式心マッサージ器は積載していない。